

6 蛇紋岩地質の崩壊跡（平成30年7月豪雨）

写真



解説

新見市足立地区で崩壊した急傾斜地。表層土から風化岩が崩落し、斜面末端の家屋5軒が全壊した。被災時から20日後の調査では、降雨がほぼ皆無であったにもかかわらず、崩壊部から湧水が染み出していた。斜面上には崩壊土砂が残存している状況が見て取れる。

（日時：平成30年8月13日撮影、座標：35.04036, 133.3854）

提供者 氏名 佐藤 丈晴 所属 岡山理科大学